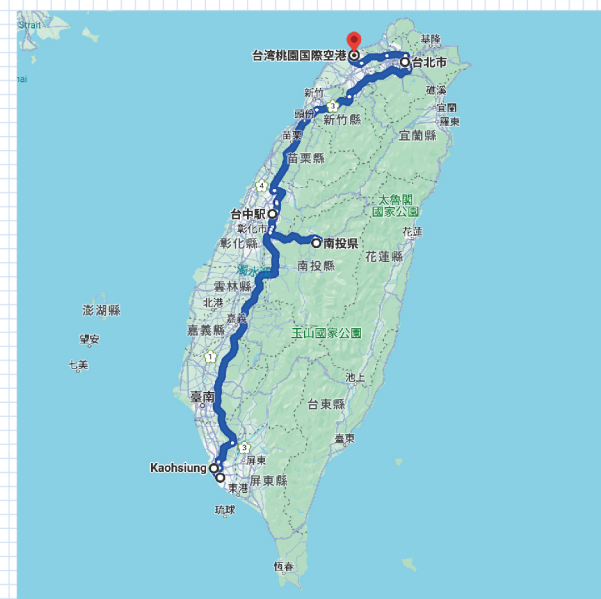


# 先住民族の歴史と 台湾の食文化を学ぶ



橋垣ももよ・石原優衣・河元唯菜  
竹林優華・山崎菜々美・劉映  
県立広島大学

エリア

北部 中部 南部

テーマ

歴史 文化 民族 食文化



## 学びのポイント

台湾には16の先住民族(台湾では「原住民族」と言われています)が暮らしています。しかし、日本で取り上げられることはあまりありません。そこで彼ら先住民族の歴史と文化についての理解を深めることを学びの重要なポイントとしました。加えて、観光でしばしば行く台北などの台湾北部だけではなく、台湾を南北に縦断して街並みや食を楽しみながら、台湾の多様な姿を学ぶプランとしました。台北観光だけでは見えてこない、知ることができない台湾の姿について学べます。

## 参考文献

大東和重『台湾の歴史と文化-六つの時代が織りなす「美麗島」』中公新書 2020年

邱若龍『霧社事件: 台湾先住民(タイヤル族)、日本軍への魂の闘い』現代書館 1993年

楊武勲『台湾における原住民族の権利獲得運動の到達点と課題 — 2000年代以降の状況を中心に—』『国際教育』21 2015年

山崎直也『台湾原住民族教育の新動向 —「部落学校設立十年計画」について—』『国際教育』21 2015年

一青妙・山脇りこ・大洞敦史『旅する台湾<sup>へいとう</sup>・屏東あなたが知らない人・食・文化に出会う場所』ウェッジ 2023年



烏来タイヤル民族博物館(新北市)

1990年代以降、台湾北部の新北市烏来では温泉を中心とする観光業が発展してきました。しかし、観光客がこの地に古くから暮らすタイヤル民の文化や歴史に直接触れる機会や場所はほとんどありませんでした。そこで烏来の先住民族であるタイヤルの人々を尊重し、その文化や歴史を学ぶ場として、2005年にこの博物館が設立されました。タイヤル民族の視点から学ぶことができる博物館です。ちなみにUlay(ウライ、烏来)とは、タイヤル民族の言葉で「温泉」を意味します。



士林観光夜市(台北市)

士林観光夜市は、「夜」市というもの、販売する商品を変えつつ朝から夜まで開いているマーケットです。MRT剣潭駅の近くにあり、清代に淡水河を行き来していた船の荷物がこの一帯で降ろされたことから、ここに市ができました。地元の人々も観光客も集まる、台北で最大規模の夜市で、たいへんにぎやかな場所です。台湾の人々の暮らしを間近で見ることができます。なお、日本統治時代から残る2棟の建物は、台北市の古跡に指定されています。



台中市ポウマ国民小学校(台中市)

この小学校は、タイヤル民族が住む大安溪上流域の村にあります。P'uuma(ポウマ、博屋瑪)と名付けられる前は「達観国民小学」という中国語の名前でしたが、2016年教員、児童、村民らの投票によって、「養育・伝承・隆盛」を意味するタイヤル語のP'uumaに変更されました。山の小さな公立小学校で、台湾で初めて先住民族の文化を中核とする独自のカリキュラムによる教育が行われることになりました。ここでは、台湾の多文化教育の最先端の姿を見ることができます。



九族文化村(南投県)

1986年に開業された、台湾でも有名な観光施設です。先住民族集落エリア、ヨーロッパンガーデンなどがありますが、オープン当初からの名物が、先住民族の文化を取り入れた施設やアトラクションです。先住民族集落エリアでは、各民族の伝統家屋が原寸大で再現されています。九族という名称ですが、台湾の16の先住民族の歌や踊りのパフォーマンス、手工芸や音楽、儀礼のワークショップを楽しむことができます。



蓮池潭(高雄市)

高雄市は台湾南部にある、台湾を代表する大都市です。蓮池潭は市内北部に位置する左営にあります。左営は、17世紀に鄭成功政権が支配していた時代に築かれて以来の長い歴史がある町です。蓮池潭は巨大なため池で、周辺には龍虎塔や孔子廟などがあります。台湾における漢民族の文化の一端を知ることができる場所で、観光客も高雄の人々とともに訪れます。

1 目 START 台湾桃園国際空港

台北

烏来タイヤル民族博物館

士林観光夜市

2 目

台中→南投

台中市ポウマ国民小学校

霧社事件餘生紀念館

3 目

九族文化村

4 目

高雄

蓮池潭

高雄市立歴史博物館

六合観光夜市

GOAL 高雄国際空港